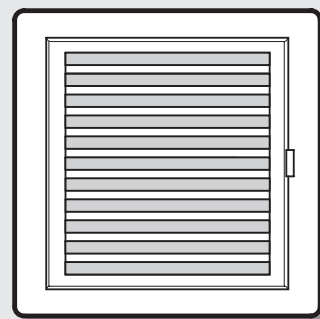


パイプ用排気ファン トイレ・洗面所用 フィルター付

MAX®

＜壁取付専用型＞
VF-H08E2-F





取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役に立ちます。


ご使用になる前に この取扱説明書を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。


※ご使用の前に、「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害
や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫
の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」
「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず
守ってください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を
負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性
及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例







 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止
内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。













 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な
指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

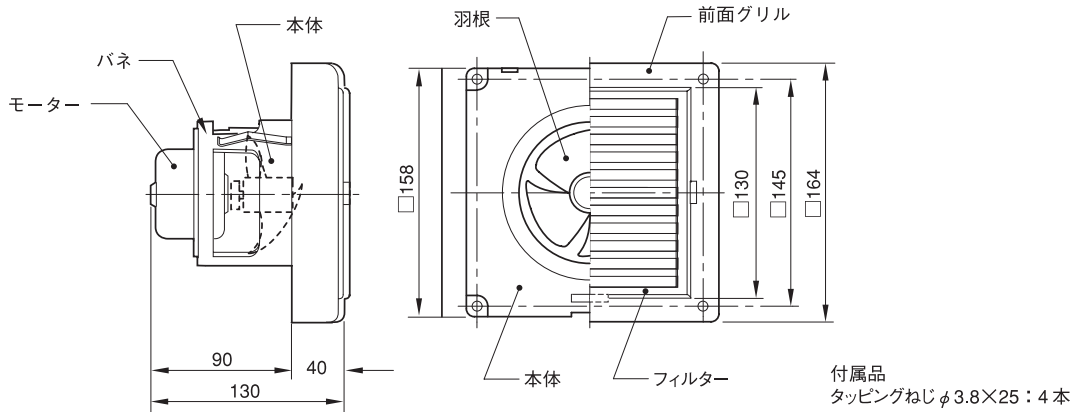
〈安全上のご注意〉

換気扇を正しく安全に取り付け、お使いいただくために、つぎのことを必ずお守りください。

 警告	
	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してケガをすることがあります。
	ガス漏れの場合は換気扇のスイッチを入・切しないでください。スイッチの火花により爆発や引火の恐れがあります。
	お手入れの際は必ずスイッチを切り、さらに電源(ブレーカースイッチ)を切ってから行ってください。また、ぬれた手でスイッチや電源の操作をしないでください。感電やケガをすることがあります。
	水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。 浴室等湿気の多い場所には取り付けしないでください。ショート・感電の恐れがあります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付けてください。漏電した場合、発火することがあります。 安全のため、必ずアースを取付けてください。感電の恐れがあります。

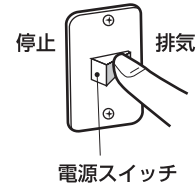
 注意	
	交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	直接炎のあたる恐れのある場所には取付けしないでください。火災の恐れがあります。
	電源コードがいたんだりした場合は、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
	電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。感電の原因になります。
	配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります。
	本体の取付け工事は充分強度のあるところを選んで確実に行ってください。落下によりケガをすることがあります。
	グリルの取付けは確実に行ってください。落下によりケガをすることがあります。
	本体は確実に取付けてください。落下によりケガをすることがあります。
	掃除の際、モーター・コンデンサー・スイッチ等の電気部品は水に浸したりしないでください。感電・故障の原因になります。
	運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないでください。ケガの恐れがあります。
	ご使用中に異常「回転が止まる・音が大きくなる・回転ムラ・異常な匂い」等が発生したら直ちに使用をやめてください。火災や感電の恐れがあります。

各部の名称



使いかた

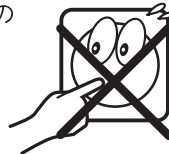
- 壁に取付けたスイッチで「排気」、「停止」の操作をします。電源スイッチを入れると羽根が回り、室内の空気を換気します。



※スイッチは付属品ではありません。

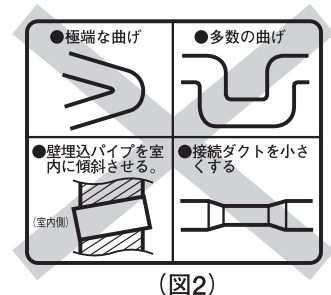
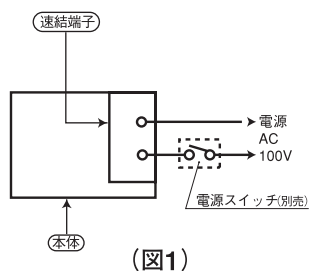
使用上の注意

- 回転中の羽根に、指やものを入れないでください。ケガの原因となります。



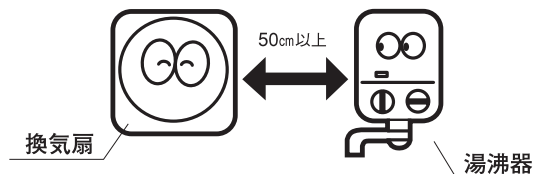
取付時の注意

- ①壁からの距離を守ってください。グリルの取付け、取外しができなくなります。
- ②木枠や本体の固定が不十分ですと、振動や騒音などの原因となりますのでご注意ください。
- ③パイプは壁面より出さないでください。本体と壁面にすきまができると空気もれの原因となります。
- ④配線工事やスイッチの取付けは必ず電気工事に依頼してください。
- ⑤電源は必ず正しく配線された(図1)単相100ボルトを使ってください。
- ⑥(図2)のような配管工事はしないでください。
- ⑦湿度の高い所に取付ける場合、必ずアースをしてください。
- ⑧コンクリートなどの壁穴には直接本体を取付けしないでください。取付けが不十分になり、本体が落下する恐れがあります。
- ⑨メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付けてください。



取付場所の選びかた

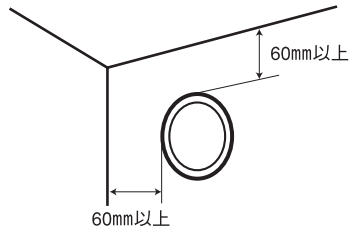
- 換気扇付近の温度が40℃以上になる場所や、薬品を使う場所には取付けしないでください。絶縁が悪くなり感電する恐れがあります。
- 効率よく換気するため、壁に取付けてください。
- ガス湯沸器からは50cm以上離して取付けてください。



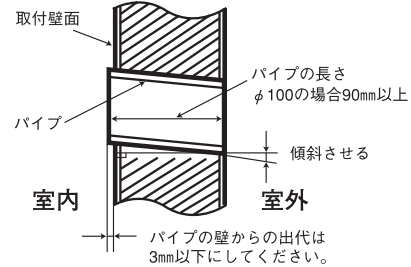
取付けかた

パイプの取付

①パイプの取付穴は壁や天井から60mm以上離してください。



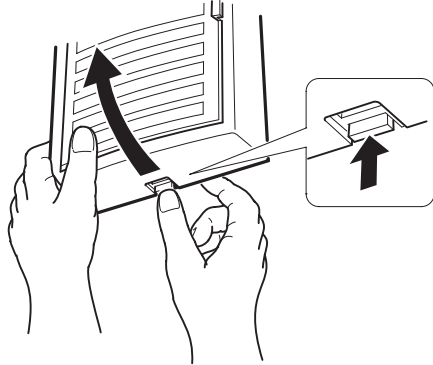
②パイプを壁に埋込む。
(パイプは必ず取付けてください。)



本体の取付け

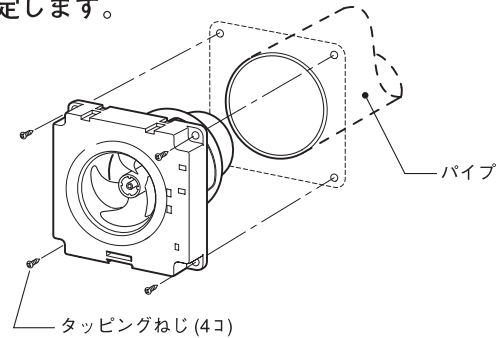
1.

グリル下部の突起を押し、下方を引きあげてグリルをはずします。



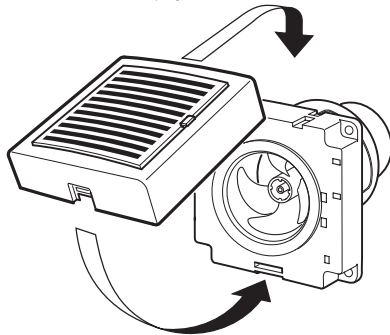
2.

本体をパイプに差込み付属のねじ(4本)で固定します。



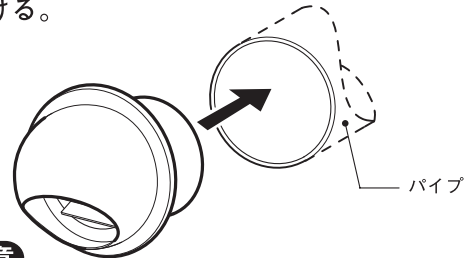
3.

グリルの上部を本体上部にひっかけ、下部を押しはめ込みます。



4.

外壁面には、パイプフード、ベントキャップを取付ける。

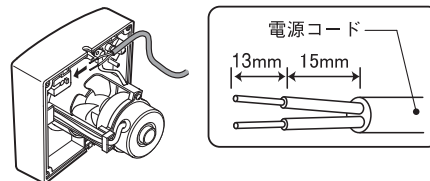


ご注意

特に薄い壁の場合、パイプフード、ベントキャップが、パイプファン本体に当たらないよう施工してください。
(パイプフード、ベントキャップは別売)

電源コード接続

●コネクタに電源コードの芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。



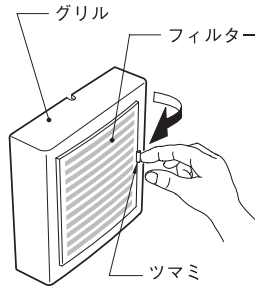
ご注意 ●配線工事やスイッチの取付けは必ず工事店依頼してください。
●スイッチは必ず活線側に取付けてください。

お手入れのしかた

●お手入れをする前には必ず電源を切ってください。

フィルターの掃除

- フィルターのツマミを指に引っ掛け引き上げ、はずします。その際、フィルターが落ちない様、片一方の手を携えてください。
- はずしたフィルターを水洗いしてください。水洗いの際、フィルターを破らない様に、気を付けてください。

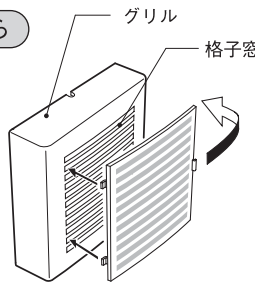


グリルの掃除

- グリルも汚れていましたら掃除をしてください。
- グリルをはずします。(換気扇の取付けた1.参照)
 - 中性洗剤溶液に浸した布をしぼって、汚れをふきとります。その後、水でしぼった布で洗剤が残らないように十分ふきとってください。

フィルターの掃除が終わりましたら

- フィルター裏面にあるツメをグリルの格子窓に引っ掛け、フィルターを押し、グリルにはめ込みます。フィルターのツマミ側のツメが2ヶ所共カチッと入ることを確認してください。



本体の掃除

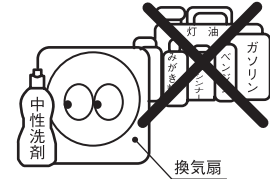
- 本体は取付けたまま汚れをふきとってください。

お手入れが終わりましたら

- グリルを取付けます。(換気扇の取付けた3.参照)
- つぎのことを確かめ異常がないか確認してください。
 - ①グリルが確実に取付けられていること。不完全ですと落下することがあり危険です。
 - ②運転して異常な振動や騒音がないこと。

ご注意

- モーターなどの電気部品は、水をかけないでください。絶縁不良となり、漏電などの原因になります。また、洗剤、スプレー式クリーナーなどでの掃除はおやめください。
- お手入れは中性洗剤をご使用ください。アルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
- お手入れの際は、必ず厚手の手袋を着用してください。



お願い

- フィルターが目詰まりしますと風量が落ち、音も大きくなりますので、ホコリが溜まりましたらこまめに掃除をしてください。

異常が生じた時

●ご注意 ご家庭での修理は危険ですのでおやめください。

- 右の表に従って点検をしていただき、それでもなお異常のある場合は、事故防止のため使用を中止し、電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。

異常内容	点検事項
運転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●羽根に何か当たっていませんか。

仕様

性能表

品番	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	重量(kg)
VF-H08E2-F	100	50/60	1.8/1.9	37/43	24/26	0.8

取付パイプ

(単位: mm)

品番	取付パイプ	外径	内径	長さ
VF-H08E2-F	VP100	φ114	φ100	90以上
	VU100	φ114	φ107	

アフターサービスについて

サービスのお申込み

- 「異常が生じた時」をご覧になり、もう一度確認してください。
- 確認後も不具合な時、またはご不明な点がある場合は、自分で修理をせずにお買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。
なお、ご連絡の際は下記事項をお知らせください。
 1. 品名：パイプ用排気ファン フィルター付
 2. 形式：VF-H08E2-F
 3. 施工年月日
 4. 故障または異常の内容（できるだけ詳しくお知らせください）
 5. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しくお知らせください）

修理について

- お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は、有料で修理をお受けいたします。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打ち切り後6年です。
その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますのでご了承ください。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

購入店名 _____ 電話 () _____

ご購入年月日 平成 年 月 日

MAX

マックス株式会社 住環境機器営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 TEL03-3669-8112

マックスお客様ご相談ダイヤル 0120-228-428

月～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）午前9時～午後6時